



操作ボタン位置参照図

液晶タイプ①



液晶タイプ②



※本説明書は、液晶タイプ①と②の共通説明書です。本説明書では、液晶タイプ①のデザインで図解説明をしています。操作方法は液晶タイプ①と②ともに同じです。

機能

- 時計
- カレンダー機能 (曜日・日・月・西暦表示)
- ストップウォッチ機能
- アラーム機能 ■時報機能
- 第2時刻表示機能
- EL全面ライト

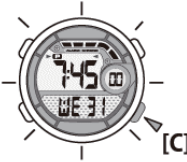
※ボタン操作時の電子音のON/OFFは出来ません。

EL全面ライト

[C] ボタンを押すとELライトが約3秒間光ります。

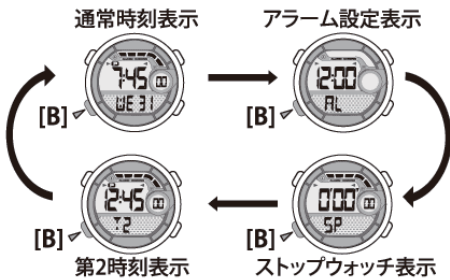
※注意：ELライトは電気を多量に消耗します。多用されると電池寿命が短くなります。必要最小限のご使用をお勧めします。

※注意：電池の電圧が低くなると電圧不十分で作動しなくなります。ELライト点灯時に液晶表示が薄くなったり表示が点滅したりします。故障ではありませんが、お早めに電池交換をしてください。



各モードへの切り替えについて

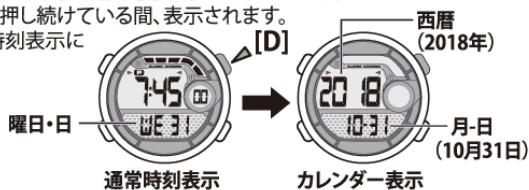
通常時刻表示から[B] ボタンを押すごとに下図の順に設定表示が切り替わります。



1 通常時刻表示

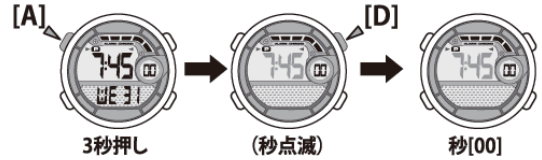
カレンダーの見方

通常時刻表示の時は[曜日]と[日付]を表示しています。
[D] ボタンを押すと[西暦]と[月・日]が表示されます。
[D] ボタンを押し続けている間、表示されます。
離すと通常時刻表示に戻ります。

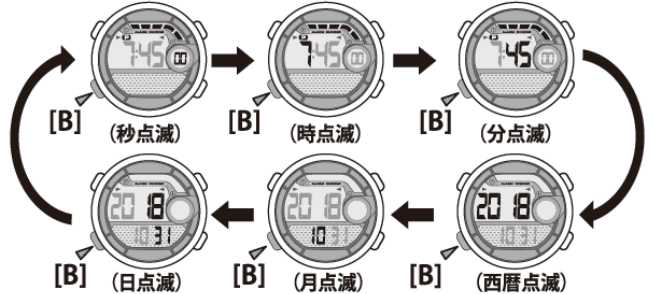


時刻設定の変更のしかた

- ① 通常時刻表示の状態[A] ボタンを約3秒間押します。
[曜日]と[日付]が消え、[秒]が点滅します。
[D] ボタンを押すと「秒」が[00]に戻ります。



- ② [B] ボタンを押すごとに、[秒]→[時]→[分]→[西暦]→[月]→[日]の順に点滅が切り替わります。



- ③ 点滅時に[D] ボタンを押して設定を変更します。
[D] ボタンを押すと進みます。 ※長押しすると早送りできます。
- ④ ②・③の手順で、設定をする部分を点滅させて変更します。
- ⑤ 西暦は2000年～2099年まで設定できます。
曜日は自動設定です。西暦・月・日の設定に合わせて自動で切り替わります。
※うるう年も自動で切り替わります。
- ⑥ [A] ボタンを押して設定を終了します。

※注意：設定変更中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して時刻設定を終了します。

12時間/24時間表示の切替えのしかた

通常時刻表示の状態[A] ボタンを押して「12・24時間表示」を切り替えます。時刻表示の上に[P]が表示されている場合は、「12時間表示」です。
[A] ボタンを押すと[P]が消え「24時間表示」になります。
※午前は[P]が表示されませんので、「12・24時間表示」どちらでも表示は変わりません。



2 アラームと時報機能

※約60秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

- ◎アラーム設定が「入」の時、毎日設定時刻にアラームが鳴ります。
- ◎アラーム音は、[A][B][D]いずれかのボタンを押すと止まります。
[C] ボタンを押しても止まりません。


※アラーム音は約60秒間鳴ります。

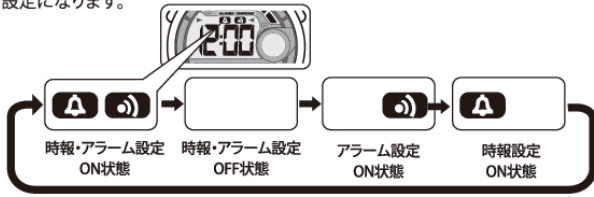
アラーム時刻設定

- ① 通常時刻表示から[B] ボタンを1回押してアラーム設定表示にします。
- ② [A] ボタンを押すと[時]が点滅を開始します。
[D] ボタンを押すと「時」が進みます。 ※長押しすると早送りできます。
- ③ 次に[B] ボタンを押すと[分]が点滅を開始します。
[D] ボタンを押すと「分」が進みます。 ※長押しすると早送りできます。
- ④ ③④で時間を設定したら、最後に再度[A] ボタンを押して設定を確定させます。

※注意：設定変更中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。この時、途中まで設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

アラーム入・切 (ON/OFF)

アラーム設定表示で(点滅していない時) [D] ボタンを押すとアラームと時報のON/OFF(入/切)ができます。
 [D] ボタンを押すごとに下図の順で設定が切り替わります。
 アラームをONにする時は、アラームマーク  を表示させます。
 アラームをOFFにする時は、アラームマークを消します。
 また、②のアラーム時刻設定の操作をした際に、自動的にアラームがON設定になります。



時報設定の入・切(ON/OFF)

*時報の時間は、設定変更できません。

時報設定が「入」の時、毎時正時にチャイム音が鳴ります。
 時報のON/OFFの設定はアラームON/OFFに連動しているため、上図に従って設定を行ってください。

- 通常時刻表示から[B] ボタンを1回押してアラーム設定表示にします。
- [D] ボタンを押して時報設定のON/OFF(入/切)を行います。

4 第2時刻表示機能

※約 60 秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

◎通常時刻表示とは別に第2時刻を約60秒間表示します。

第2時刻の時間設定

- 通常時刻表示から[B] ボタンを3回押して第2時刻表示にします。
- [A] ボタンを押すと[時]が点滅し、[B] ボタンを押すと[分]が点滅します。
- 点滅時に[D] ボタンを押して設定を変更してください。
[D] ボタンを押すと進みます。
※「分」の設定は30分単位でのみ変更できます。
※長押しすると早送りできます。
- [A] ボタンを押して設定を終了します。



※注意: 第2時刻は、アラーム設定時刻と連動していません。
アラーム設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。

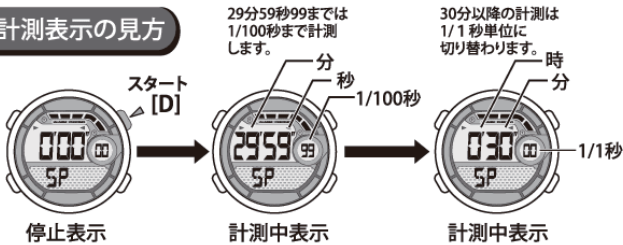
※注意: 第2時刻表示の時は、[曜日]と[日付]は表示されません。
また、[D] ボタンを押してもカレンダーは表示されません。

※注意: 設定変更中に約60秒間ボタン操作を行わない場合、自動的に設定を終了して通常時刻表示に戻ります。途中で設定を変更していた場合は、その変更を確定して終了します。

3 ストップウォッチ機能

※約 60 秒間にも操作がない場合、自動的に通常時刻表示にもどります。

計測表示の見方

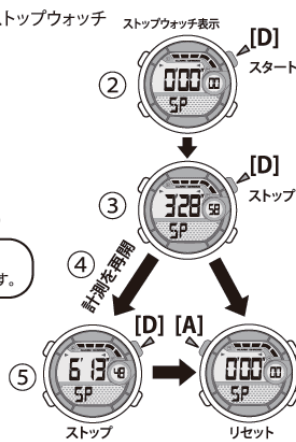


基本操作

- 通常時刻表示から[B] ボタンを2回押してストップウォッチ表示にします。
- [D] ボタンを押してスタートします。
- [D] ボタンを押してストップします。
- 再度[D] ボタンを押すと計測を再開します。

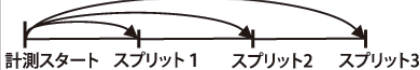
最大計測時間: 23時間59分59秒
 ※最大計測時間に達すると自動で計測を停止します。

- [D] ボタンを押してストップした状態で[A] ボタンを押すとリセットされます。



スプリットタイム(SPL)計測

◎スプリットタイム計測はスタートから各区間までの積算時間(合計時間)を計測します。



- [D] ボタンを押してスタートします。
- [A] ボタンを押すと画面にはスタートからその時点までのスプリットタイムが表示されます。
- 再度[A] ボタンを押すと、積算時間の表示に戻ります。操作②③を繰り返し積算時間を計測します。
- 計測を終了する場合は、最後の計測記録を[D] ボタンを押してストップしてください。
- [A] ボタンを押すとリセットされ、表示が[0'00"00]に戻ります。

※注意: [B] ボタンを押して、通常時刻表示やアラーム設定表示などに切り替えても、ストップウォッチ表示でストップしない限り、または最大計測時間に達しない限り、計測は継続します。



製品仕様

- 平均月差 ±60秒以内 (適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
- 使用温度範囲: 5℃~35℃
- 電池寿命: 新品電池を入れてから約1.5年 (1日にELライト2回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

- 使用電池: リチウム電池 CR2025 x 1個
- 製造国: 中国

防水機能について

- 本製品は10気圧防水です。
- ※注意: 激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

10気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	○	×	×

ボタン操作のご注意 水中、または水に濡れた状態でボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。